

質問	論語に「女子と小人は養い難し」とあるが、反論が載っているような資料を見たい。
回答	渋沢栄一 著・守屋淳 編訳『渋沢栄一の「論語講義」』(123コウ)のP.239～241 に、この言葉に対する渋沢栄一の反論が載っている。 そもそも一国および一家がよく治まるかどうかは、使用人が喜んで従ってくれるかどうかにかかっている。一家の使用人たちが仲睦まじく主人の命令を聞くのは、主人の行いや恩恵、いたわりが程よいからに他ならない。(中略) 孔子の言う「女と使用人は始末におえない」というのは、第一に男尊女卑を原則として、第二に女子に教育機会を与えない時代の見方を反映している。(中略)孔子は、「過去の歴史を勉強することによって、現代に対する洞察を深めていく(故きを温ねて、新しきを知る)」と述べているように、意欲的に新しいものを取り入れようという考えを抱いている方だった。だから、もし孔子が今日に生まれたならば、絶対にこのような言葉は残さなかったろう。
回答のプロセス	
資料	渋沢栄一 著・守屋淳 編訳『渋沢栄一の「論語講義」』(123コウ)
備考	